



学校だより 10月号

宜野湾市立嘉数小学校
令和7年10月1日(水)
校長 玉城 有

秋といえば〇〇の秋

10月に入っても日中は強い日差しが続いていますが、夕方になると時折涼しい風が吹き、少しずつ秋の気配を感じるようになってきました。日没の時間も早くなったように感じます。

この季節になると、「〇〇の秋」という言葉をよく耳にします。皆さんは秋といえば何を思い浮かべますか？食欲の秋、スポーツの秋、芸術の秋……それぞれに秋の楽しみ方があると思います。学校としては、ぜひ「読書の秋」もイメージしていただきたいと思います。さて、学校が読書を勧めるのはなぜでしょうか。それは、読書が子どもたちの学力向上に大きな効果をもたらすからです。以下に、読書の主な効果をいくつか紹介します。

言語能力が育つ

言語能力はすべての学びの土台であり、生活にも直結する力です。正しい言葉遣いは、学習・仕事・人間関係を豊かにします。

判断力が養われる

思考力が高まり、課題や生活の問題に対して適切に対応できる力が身につきます。

想像力が育まれる

想像力が乏しいと、友だちの気持ちを理解できず、トラブルにつながることもあります。

学習能力・思考力が向上する

読書量の多い子どもは、学力が高い傾向があります。ある調査では、「学習 2 時間」よりも「学習 1 時間＋読書 1 時間」の方が成績が良いというデータもあります。（※個人的には、学習の仕方にもよると思いますが…）

集中力・忍耐力が高まる

読書には集中力が必要です。子どもの頃に培った集中力や忍耐力は、大人になっても役立ちます。

さらに読書の効果を高めるためには、以下のような工夫が有効です。

○子ども自身が読みたい本を選び、分野を広げていく

○読んだ内容をアウトプットして、理解を深める。

○短時間でも毎日読書の習慣をつける。

これらを意識することで、読書の効果は格段にアップします。まさに「読書はやらなきゃ損！」ですね。

読書のメリットは、子ども時代だけでなく、大人になっても続きます。つまり、読書の習慣は人生を豊かにするのです。本との出会いが人を成長させ、ときには人生を変えるきっかけになることもあります。ぜひ、学校の図書室や市の図書館を積極的に活用してください。今では、本屋さんだけでなく、インターネットでも簡単に本を購入できます。タブレットなどにデータをダウンロードすれば、瞬時に好みの本が手に入る便利な時代です。アナログとデジタルをうまく組み合わせ、購入と借入をバランスよく活用することで、子どもたちに充実した「読書の秋」を体験させていただければと思います。

10月の主な行事予定

日	曜日	内 容
4	土	QAB 大縄跳び大会決勝（代表の子）
7	火	修学旅行～8 日（6 年）
8	水	社会見学（3 年）
9	木	6 年生振替休日
13	月	スポーツの日（公休日）
17	金	授業参観
20	月	クラブ⑧⑨
22	水	自然教室～23 日（5 年）
24	金	5 年生振替休日
24	金	社会見学（2 年）
29	水	クラブ⑩最終日

ラジオ体操で一日のスタートを

児童会の企画により、
毎朝 7 時 55 分から

「ラジオ体操」を実施しています。役員の児童たちが「1 日を元気にスタートできるように」との思いで企画したもので、

参加した児童にはカードにスタンプが押される仕組みになっています。写真は、体操に参加した児童がスタンプを受け取っている様子です。朝から体を動かすことで、心も体もすっきりし、充実した 1 日を過ごすきっかけとなっています。



「主体・自立・貢献」子ども達の成長を願って